

平成 26 年 4 月 23 日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

震災復興市民植樹祭

小千谷市では、中越大震災から 10 年の節目の年を記念して、震災復興市民植樹祭を開催します。

■震災復興市民植樹祭

- ◆日時：5 月 18 日(日) 午前 10 時～午前 11 時 30 分
- ◆会場：小千谷市山本山(市民の家付近 山頂側、小千谷市大字山本 1195 番地 1 先)
- ◆内容：
 - 小千谷市の末永い発展のシンボルとして、代表者によるメモリアルツリー(ケヤキ)の植樹
 - 小千谷市と市民のさらなる発展を願い、メモリアルツリーの周辺に参加者全員によるヤマツツジ、ヤマモミジ、コナラ(ドングリ)など苗木 300 本の植樹
- ◆参加者数：約 200 名を予定

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市農林課農地林務係 担当／吉田・小林
TEL：0258-83-3510 FAX:0258-83-2789 E-mail：nourin-nt@city.ojiya.niigata.jp

【参考】

■第 65 回全国植樹祭

森林・緑に対する理解を深めるため、毎年両陛下ご臨席のもと開催される国土緑化運動の中心行事で、今年は長岡市で式典、お手播き行事などが行われます。小千谷市では記念植樹が行われます。(記念植樹会場は県内 4 か所)

- ◆記念植樹(小千谷会場)
 - 開催日：6 月 1 日(日)
 - 時間(予定)：午前 7 時～8 時 30 分ころ、午後 2 時～3 時ころ
 - 会場：小千谷市山本山(市民の家付近山頂側、小千谷市大字山本 1195 番地 1 先)
 - 内容：県内外の招待者により 19 種類の苗木が植樹されます
 - 問い合わせ：
 - ・第 65 回全国植樹祭新潟県実行委員会事務局(新潟県農林水産部治山課全国植樹祭推進室内) TEL：025-280-5787 FAX：025-280-5219
 - ・小千谷市農林課農地林務係 TEL：0258-83-3510 FAX:0258-83-2789

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

おぢやクラインガルテンふれあいの里 利用シーズンが始まります

おぢやクラインガルテンふれあいの里は、都市住民との交流・共生を目的とした長期滞在の可能な農業体験施設です。今年で 8 年目を迎え、地元管理組合が管理運営、農業指導をしています。

5 月 3 日（祝）には「開村交流会」が開催されます。

■開村交流会

◆日程 5 月 3 日（祝）

○午前 9 時～ 山菜の天ぷら作り（ふれあいの里管理棟前集合）

○午前 11 時～ 開村交流会

（会場はふれあいの里 雨天の場合は塩殿ふれあいセンター）

山菜の天ぷらと一品持ち寄り料理などで懇親

■ふれあいの里概況

○滞在型農園は 30 区画。今年度新規利用者は 9 組。1 区画の空きが有り、現在募集中。

○年間を通じて体験交流事業を行っています。

田植え、稲刈り、野菜作り講習会、みそ作り、そば打ち、こみちウォーク等のイベント開催のほかに、バラボランティア、ささげ豆サークル、田んぼサークル等の活動があります。小千谷市民も参加できるイベントも計画しています。

○日帰り型農園の利用者も募集中です。年間使用料は 1 区画 9,600 円です。

■施設概要

別添チラシをご覧ください。

■申込状況（平成 26 年 4 月 14 日現在）

〈滞在型農園〉 29 組

県別	件数	代表者年代	件数
東京都	10	30 代	0
神奈川県	3	40 代	4（うち 1 組は 5/1 から入居）
千葉県	2	50 代	3
埼玉県	2	60 代	15
京都府	1	70 代	7
石川県	1		
新潟県	10（うち 1 組は 5/1 から入居）		
合計	29	合計	29

本件に関するお問い合わせ先

○小千谷市農林課農村支援係 担当／新保・高橋

TEL：0258-83-3510 FAX:0258-83-2789 E-mail:nourin-nk@city.ojiya.niigata.jp

○おぢやクラインガルテンふれあいの里 担当／関 TEL：0258-83-1722

平成 26 年 4 月 23 日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所

小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

首都圏の中学生が農業体験を行います

小千谷市では、地域の活性化、受入側の生きがいづくり、感動の共有、交流人口の増加を目的に、都市の中学校の教育体験旅行（林間学校や自然教室）の受け入れを推進しています。平成 19 年度から 7 年間で 27 校、3,678 名の生徒を 1,120 戸の家庭で受け入れています。（延べ数）

また、今年度より小千谷市と災害時相互援助協定を結んでいる東京都杉並区内の中学校が、充実した中学校生活を送るための基盤づくりを目的として、中学 1 年生を対象としたフレンドシップスクールにおける農作業体験等を小千谷市で実施します。

■首都圏からの受け入れ【教育体験旅行】

◆今年度は、首都圏の中学校 7 校の受け入れを 5 月、7 月、8 月、9 月に行います。

5 月 9 日（金）～11 日（日） 埼玉県八潮市八幡中学校【183 名】（6 回目）

5 月 21 日（水）～23 日（金） 東京都杉並区立和田中学校【145 名】（初）

7 月 22 日（火）～23 日（水） 東京都江戸川区立清新第一中学校【136 名】（5 回目）

7 月 24 日（木）～26 日（土） 東京都江戸川区立瑞江第二中学校【114 名】（4 回目）

7 月 29 日（火）～31 日（木） 東京都江戸川区立小松川第三中学校【98 名】（6 回目）

8 月 19 日（火）～21 日（木） 東京都江戸川区立葛西第三中学校【231 名】（2 回目）

9 月 17 日（水）～19 日（金） 東京都町田市立金井中学校【156 名】（3 回目）

■杉並区立中学校フレンドシップスクール

5 月 12 日（月）～14 日（水） 東京都杉並区立荻窪中学校【92 名】

5 月 21 日（水）～23 日（金） 東京都杉並区立向陽中学校【130 名】

※フレンドシップスクール

杉並区の事業で、中学 1 年生を対象に、中学校進学に伴う生活環境や交友関係の変化に対応できる力を育てるための事業。市外宿泊施設に泊まり、小千谷市には各校とも 2 日間通う予定。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市農林課農村支援係 担当／高橋・新保

TEL : 0258-83-3510 FAX:0258-83-2789 E-mail : nourin-nk@city.ojiya.niigata.jp

平成 26 年 4 月 23 日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号**交流人口拡大事業 「田植え体験とゆったり農家民宿」 ツアー**

小千谷市では、農村都市共生事業の推進、地域コミュニティの活性化及び農業の複合経営を推進しており、今回、市内の農家民宿 2 軒を絡めた農業体験を伴うツアーを行います。

小千谷の魅力のひとつである人との交流と美味しい郷土料理でのおもてなしを、それぞれの農家民宿で体験していただく行程となっています。

■田植え体験&ゆったり農家民宿

◆開催期日：5 月 25 日(日)～26 日(月) 1 泊 2 日 JR 新宿西口発着 (バスツアー)

◆募集人員：20 名

1 日目：農家民宿（東山地区：新助、若栃地区：おっこの木）で昼食

田植え体験（魚沼産コシヒカリ）

ちぢみの里入浴

農家民宿で夕食、宿泊

2 日目：朝食

里山散策（山菜採り体験）

農家民宿で昼食

※山菜料理のレシピを伝授。秋には 1 升(1.8kg)のお米を送ります。

◆企画：小千谷市グリーン・ツーリズム推進協議会

事務局：サンプラザ内 おぢやファンクラブ TEL：0258 - 83 - 4800



農家民宿 新助

小千谷市大字南荷頃（首沢）3736 番地 3
TEL：0258 - 59 - 2779

農家民宿 おっこの木

小千谷市真人町戊（若栃）2518 番地
TEL：0258 - 86 - 7998

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市農林課農村支援係 担当／高橋・新保
TEL：0258-83-3510 FAX:0258-83-2789 E-mail：nourin-nk@city.ojiya.niigata.jp

平成 26 年 4 月 23 日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所

小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

**ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形文化財
小千谷縮製作体験講座を実施します**

平成 21 年 9 月にユネスコの世界無形文化遺産に登録された麻織物「小千谷縮」は、今年 9 月で登録から 5 年を迎え、文化財としての価値がますます高まっています。無形文化財は製作技術そのものが文化財であり、その製作工程を体験することで、伝統の技に触れ、歴史の学習と技術の保存を考える機会とします。昨年度は小千谷市外、県外からも多くの参加者があり、講座に注目が集まっています。

◆目的

ユネスコ世界無形文化遺産に登録された国指定重要無形文化財「小千谷縮」の製作を体験して、その技術を学び、文化財「小千谷縮」の普及活動を行います。

◆対象

小千谷縮の製作体験に興味・意欲のある方で、全講座参加ができる方。

◆講座内容

平成 26 年 7 月 5 日（土）～平成 27 年 2 月 28 日（土）（全 6 回）※詳細は裏面参照

◆講座の特徴

この講座は平成 23 年度から開始して、今年で 4 回目となります。

県内、県外からも参加希望があり、参加者のほとんどが 6 回すべてに出席するなど、意欲の高さが際立つ講座となっています。

また、参加者から、今後も小千谷縮に継続して関わることを希望する方も多く、小千谷縮製作の後継者として活動を始めた方や、研究者の道に進んだ方もいらっしゃいます。

◆募集

・募集人員：20 人

参加者負担金：7,000 円

募集締切：6 月 6 日（金）

申込先：小千谷縮技術保存会事務局（小千谷市教育委員会生涯学習スポーツ課内
TEL0258-83-0077）

◆その他

7 月 5 日（土）の第 1 回講座は午後から実施しますが、希望者は午前中に小千谷縮の着付け体験をすることができます（定員 8 人、1 人 4,000 円）。小千谷縮に袖を通してながら午後の講座を受講できます。

裏面につづきます

○日程詳細

回	日程	内容	会場
1	7月5日(土) 13:30~16:30	講話「小千谷縮の歴史と技術」 小千谷縮の歴史をわかりやすく学びます。織物組合の見学も行います	小千谷市総合産業会館 サンプラザ 小千谷市城内 1-8-25
2	7月19日(土) 7:00~18:30	小千谷縮 原材料生産地視察 苧麻(からむし)を栽培している福島県昭和村を視察します。	福島県大沼郡昭和村 (バス利用)
3	7月26日(土) 9:00~16:00	苧麻刈取り・苧引き 小千谷市内の畑で苧麻の刈取りを行い、苧引きを行います。	小千谷市民学習センター 小千谷市上ノ山 4-4-2
4	9月6日(土) 9:00~16:00	苧績み・糸の手くびり作業体験 青苧の績み、拵もようの仕組みを作業を通して体験します。小千谷縮の発明者堀次郎将俊を祀る明石堂を参拝します。	小千谷市民会館 小千谷市土川 1-3-3
5	10月4日(土)、 5日(日) 8:00~17:00	いざり機による織り 昔ながらのいざり機を使って4時間の織りを体験します。参加は1日です。	小千谷市民学習センター
6	2月28日(土) 9:00~15:00	雪さらし 雪上での布さらしを体験します。文化財小千谷縮の製作現場訪問も行います。	小千谷市民学習センター

※小千谷縮の原材料は苧麻(からむし・ちょま)というイラクサ科の植物です。上杉謙信が生産を奨励したことは広く知られています。小千谷をはじめとした魚沼地方でこの織物が発展したことは必然といえます。

また、上杉氏と苧麻の関わりから、会津、米沢でも生産が盛んになっています。

本件に関するお問合せ先／

小千谷市教育委員会生涯学習スポーツ課生涯学習係 担当／安達・篠田

TEL: 0258-83-0077 FAX: 0258-83-0078 E-mail: syougai@city.ojiya.niigata.jp

平成 26 年 4 月 23 日

報道機関 各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

船岡公園まつり

5 月 5 日 (祝) に、船岡公園で「船岡公園まつり」を開催します。

◆船岡公園まつり

■会場 船岡公園

■日程・主な行事内容

- ◆5 月 11 日 (日) まで ボンボリ点灯
- ◆5 月 4 日 (祝) 午後 1 時～午後 7 時 露店出店
- ◆5 月 5 日 (祝) 午前 10 時～午後 7 時 露店出店
正午～午後 6 時 30 分
ステージショー (よさこい、キッズダンス、市内芸能団体、
バンド演奏など)
※雨天の場合は、市民会館大ホールで行います。
午前 11 時～午後 3 時
あそびの日 (公民館主催による体を使ったゲームや体験コー
ナーなど)

■臨時シャトルバス (無料)

- ◆運行時間：午前 11 時～午後 7 時 (概ね 20 分間隔)
- ◆運行経路：市役所 P～市民会館 P～船岡公園山頂～サンプラザ前 (P 有) 間を運行します。
※船岡公園駐車場はご使用できません。徒歩か臨時シャトルバスをご利用ください。

※詳しくは、小千谷市ホームページ (<http://www.city.ojiya.niigata.jp>) または小千谷観光協会ホームページ (<http://www.ojiyakanko.com>) をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市商工観光課 担当／佐藤・島峰

TEL : 0258-83-3512 FAX:0258-83-0871 E-mail : kanko@city.ojiya.niigata.jp

平成 26 年 4 月 23 日

報道機関 各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

国指定重要無形民俗文化財 牛の角突き が始まります

「ヨシタ！」という勢子の掛け声が飛び交い、牛同士がぶつかり合う。
江戸時代後期の滝沢馬琴が書いた「南総里見八犬伝」にも記述のある、迫力満点の「牛の角突き」が、いよいよ始まります。興奮している牛を引き離す勢子の妙技や勇姿も見応えがあります。

◆牛の角突き**■開催日**

5 月 3 日（祝）、6 月 1 日（日）、7 月 6 日（日）、8 月 14 日（木、お盆興業）、
9 月 7 日（日）、10 月 5 日（日）、11 月 2 日（日）

■開始時刻

毎回午後 1 時～ 雨天決行

■会場

小千谷闘牛場（小千谷市大字小栗山）

■入場料

●一般席（屋根なし）：1,000 円

●特別席（屋根あり）：2,000 円

※当日券のみです。敷き物は、各自でご用意ください。

■交通アクセス

●自家用車ご利用の場合

関越自動車道小千谷 I C 下車 20 分 小千谷闘牛場駐車場無料（駐車台数 300 台）

●シャトルバスご利用の場合

○毎回運行：往復各 1 便

○利用料金：片道 300 円

○運行経路・時間：（行き）サンプラザ前発 午後 0 時 30 分→小千谷駅→小千谷闘牛場
（帰り）全ての取組み終了後、逆ルートで運行します。

■その他

牛の角突き開催日には、県指定文化財「木喰観音」を拝観できます。

※詳しくは、小千谷市ホームページ（<http://www.city.ojiya.niigata.jp>）または小千谷観光協会ホームページ（<http://www.ojiyakanko.com>）をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市商工観光課 担当／佐藤・島峰

TEL：0258-83-3512 FAX：0258-83-0871 E-mail：kanko@city.ojiya.niigata.jp

平成 26 年 4 月 23 日

報道機関各位

**新潟県小千谷市役所**
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号**健康づくりの担い手「小千谷市保健推進員」を 168 人に委嘱しました**

小千谷市では健康づくりを積極的に推進するため、町内で 1 名以上「保健推進員」を設置しています。保健推進員は町内会長から推薦を受け、市長が委嘱しています。

昭和 54 年 4 月に小千谷市は健康づくり都市宣言をし、健康づくりの拠点として健康センターと保健推進委員を設置し、健康づくりの推進に努めています。

■設置の目的

1. 健康づくりの普及啓発
2. 町内における自主的健康づくりの推進
3. 市および関係機関との連携強化

■任期

2 年（平成 26 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

■活動内容**1. 保健推進員自主活動**

各地区や町内ごとに、町内会や公民館などと共催し、各種健康教育や講習会を開催しています。

【主な内容】運動器の障害・老化予防、歩く健康づくり、禁煙推進、歯とお口の健康、ストレスと心の健康、健康体操、食育講話、生活習慣病予防など

2. 住民検診調査

毎年 1～2 月にかけて住民検診調査票の配布回収を行います。検診は健康づくりの出発点です。「毎年検診を受けましょう」とおすすめしています。（回収率 93.8%）

市の検診を希望された方に、受診通知書を送付します。

3. おぢや健康福祉まつり

保健推進員・保健師コーナーの参加や、健康福祉展の運営に協力しています。

平成 26 年度の予定：10 月 12 日（日）

■表彰実績

- ・平成 20 年：(財)新潟県成人病予防協会理事長表彰（地域住民の保健衛生向上に寄与）
- ・平成 21 年：新潟県知事表彰（生活習慣病予防事業優良団体）